

グリーンボイス

5

vol.265
2024

ニーサ
特集
JAでできる
資産形成
N
I
S
A
で

ニューストピックス 7

JA新規採用職員入組式

梨の花粉採取始める

商品パッケージを専門学生が考案

明日の大地に農力発揮 10

本店営業店管内 梅谷 三藏さん

菜園王 オクラ 12

おしえて農業 14

ラッカセイの栽培

アジサイの育て方

からだスマイルレシピ 16

韓国風海苔巻き ほか

みんなのページ 20



一番搾りでこだわりのなのはな油

若手社員と新たな取り組みに挑戦

明日の大地に

農力発揮

農力
発揮

本店営業店管内
梅谷三蔵さん(25)



現在は、菜の花以外にホウレンソウやネギなどの野菜も作っています。これからは、皆さんから預かった広大な農地を生かした野菜づくりで、この地の農業を守りたいと考えています。「将来的には『ここに来ればどんな野菜でも取り扱って販売している』そんな農業倉庫のような場所を作り、地域に貢献したい」。その思いに集まるように、梅谷さんと同世代の若い社員が増え始めました。

「まだ何色にも染まらず、若くて思いの強い人が少しづつ増えてきました。みんなの思いを大切にして、ともに成長していきたいです」。なのはな油の伝統は守りつつ、新しい取り組みに挑戦する梅谷さん。夢は大きく、これから活動に胸が膨らみます。

油と菜の花の種で作った調味料（なのはな醤油）は、添加物はほとんどなく、小麦・大豆アレルギーのある人でも使用できるのが特徴です。「健康を気にする人にも安心して手に取ってもらえるよう、原料にこだわりフレッシュなものを届けるよう心がけています」と梅谷さんは話します。

祖父から受け継いだ伝統の製法で作る油は、焙煎せずに圧搾一番搾りで抽出した贅沢なもの。この日に刈り取ります。有機肥料を使つた健康な土地で菜の花を育て、除草剤を使用せず耕しながら除草します。

菜の花は、景観植物として作る観賞用のほか、搾油用菜の花から採れた種を採取して作るのはな油などを製造しています。菜種の収穫量は年間15～17㌧。5月下旬から6月下旬にかけて天候のよい日に刈り取ります。有機肥料を使つた健康な土地で菜の花を育て、除草剤を使用せず耕しながら除草する中耕除草をし、種を採取しています。

「市内に広がる菜の花畑を見かけたら、わたしたち『なのはな農園』のことを思い出してほしい」と話すのは、豊田市とみよし市の約70㌶で菜の花を咲かせる農業生産法人なのはな農園株式会社の梅谷三蔵さん。梅谷さんは、豊田市猿投・藤岡地区やみよし市の北部地区を中心に、地主から預かった休耕農地で菜の花やひまわりを植えています。

明日の大地に農力発揮

明日の大地に

農力
発揮